

令和 6 年度自動運転実証調査事業の実施について

本市では、市民の日常生活の足を支えているこまき巡回バス「こまくる」のサービス水準維持に向け、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転に関する情報収集、分析及び検討などを行い、導入の検証を進めています。

令和 6 年度は、道路環境が整っているものの、公共交通の重要性が高く、高齢化の進展が顕著な地域である桃花台ニュータウン内で実証調査を実施して、自動運転に対する地域別の社会受容性の確認を行うとともに、小牧市内での自動運転の実用化に向けた検証を進めていきたいと考えています。

使用する車両については、制限速度に近い速度で走行可能なバス型車両 1 台を用いて、自動運転レベル 2 での実証調査を実施したいと考えています。

なお、本実証調査事業の実施にあたり、改めて業務委託受注者を公募型プロポーザル方式にて選定するため、7 月 10 日に自動運転実証調査事業支援業務委託プロポーザル実施の公告を行いました。

1. プロポーザル実施内容について

ア 運行ルート

桃花台ニュータウン内の外周道路を標準ルート（桃花台センターを起終点とする）として提案すること。



《標準運行ルート（イメージ）》

走行距離：約 10km

イ 運行期間

土日祝日を含めて最低 21 日以上を運行すること。

ウ 自動運転車両

レベル 2 以上で制限速度以内において他の通行車両の走行に影響が及ばない速度での走行が可能なバス型車両を 1 台調達すること。

エ その他

市制施行 70 周年に関連した事業（車両ラッピング等）を検討すること。

2. (仮称) 小牧市レベル4モビリティ・地域コミッティの設置について

国土交通省では、政府目標である「2025年度目途 50 ヾ所程度、2027年度 100 ヾ所以上での自動運転移動サービスの実現」に向けた施策の一つとして、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」（以下、自動運転社会実装推進事業）を 2022 年度より実施しております。

また、同省では、自動運転社会実装推進事業と連携し、全国の都道府県におけるレベル4自動運転移動サービスの実装加速に向けて、2024 年より各地でのレベル4モビリティ・地域コミッティ（以下「地域コミッティ」という。）の設立を推進しており、地方自治体・関係行政機関・事業者による綿密な連携体制を構築することで、地域の受容性醸成を図りつつ透明性・公平性のある手続推進を促すこととしております。

本市の自動運転実証調査事業は、自動運転社会実装推進事業の採択を受けて実施するため、本市においても（仮称）小牧市レベル4モビリティ・地域コミッティを設置し、レベル4自動運転に係る許認可取得等に向けた課題とその対策、工程について、情報共有及び議論し、事業の着実な取組を促していくこととします。

なお、地域コミッティの構成員と主な役割は下表のとおり国土交通省より示されています。

▼レベル4モビリティ・地域コミッティの構成員と主な役割

地域コミッティ構成員		自動運転移動サービスの導入における主な役割
主宰者	地方自治体	自動運転移動サービスの導入推進・全体統括
必須構成員	地方運輸局	自動運行装置認可サポート
	地方整備局	道路管理に係るサポート
	地方経済産業局	経産省の自動運転に関する取組との連携
	都道府県公安委員会	道路使用許可・特定自動運行許可サポート
	運行主体	運行に係る事項の検討・推進
任意構成員	関係事業者	求められる領域についてL4実装推進
	協力団体	求められる領域についてL4実装サポート
	...	（必要な関係者を地方自治体が選定）

3. 事業実施スケジュール（予定）

- ・プロポーザル実施結果発表、業務委託契約締結：9月中旬
- ・地域コミッティキックオフ会議：10月以降
- ・運行期間：11月以降3週間程度